

広報 かわの

令和3年3月31日 第4号

■今年10月、伊勢国司が国分寺歴史公園まで巡行

鈴鹿市歴史公園竣工記念 コロナ禍で1年先送りになっていた鈴鹿市歴史公園竣工記念の「伊勢国分寺まつり」が、いよいよ今年10月30日に開催されます。

まつり行事担当4部会（舞台発表部会、模擬店部会、体験部会、天平衣装部会）のうち、奈良時代、とくに天平（てんぴょう）頃の衣装を縫製し、市民の皆さんに着ていただき、練り歩いていただく、を趣旨に快調に制作の進んでいる天平衣装部会の進捗ぶりを、部会長の白塚山隆彦さんよりご披露していただきます。

----- ☆ ----- ☆ -----

伊勢国分寺まで巡行 天平（てんぴょう）時代の衣装を身にまとった老若男女が当時に思いを馳せながら、伊勢国分寺を目指し、颯爽と列をなして練り歩く……。自分にとって、とても興味深くワクワクさせる事業やなあと感じつつ、果たして「ずぶの素人」の私が部会長など出来るものか、などと逡巡しておりましたところ、服飾の

達人や大工工芸のエキスパートなど素晴らしいメンバーに支えられ、おかげをもちまして名ばかりの部会長をこなすことができました。

改めて部会のメンバーの皆さんに感謝、感謝であります。本年度最後の部会では出来上がった衣装・小物を部会のメンバーが身にまとい、写真のとおり「なりきり」で試着してみました。

喜びもひとしお、今度は地元の皆さんが参加する衣装行列をなんとしても成功させよう、との機運が盛り上がっています。併せて、こうした地域の伝統や文化について、一つの地区だけでなく、地域づくり協議会といった、もう少し大きな組織がバックボーンとなり、支援・継承・顕彰していくことの大切さを改めて感じています。

制作過程 それでは本年度の天平衣装部会として衣装と小物が出来るまでの制作過程を紹介いたします。



衣装制作部なりきり試着 左から白塚山、吉永、吉田、本郷、羽多野、加藤、田中の皆さん（撮影時、マスクはずして）



今を遡ること西暦700年代、奈良時代の天平のころの貴族の衣装？ 予備知識なし（それは私だけでした）で、まずは近くの見本となる資料館を見に行こう、と

いうことで、令和2年6月にお隣の四日市市大矢知町の「くるべ古代歴史館」を訪ねました。ここは奈良時代の役所跡ということで、当時の遺跡や衣装・小物等が展示されていました。地元保存会の役員さんから当時の衣装と小物を制作する際の苦労話などきかせてもらい、参考となりました。

わが部会の「服飾の達人」と「大工工芸のエキスパート」の大杉、本郷の御両所は、この視察で素材選びや作成方法、スケジュールなど、早くも全体のイメージを掴まれたようでした。実に頼もしい限りです。

小物制作 紹介が遅れましたが、今回の衣装や小物制作にかかる経費は公益財団法人「岡田文化財団」から助成金を戴いています。行政並びに河曲地区地域づくり協議会の助成金確保への御尽力、感謝申し上げます。

奈良時代の国司やその夫人が手にしていた小物は、男性は笏（しゃく）、女性は翳（さしば）でした。

とくに翳は見慣れない・聞きなれないもので、何でも

顔を隠すための小物だとか。大工工芸のエキスパートたる本郷さんには高価な素材でなく、ホームセンターにある材木やゴムチューブや網などを素材として揃えて頂きました。

制作は8月1日から計7日間、考古博物館

で都合のつく部会のメンバーが集まって行いました。「本郷棟梁」の指導の下、おそろおそろ作り始めました。

初めは上手くいかず悪戦苦闘でしたが、徐々に徐々に何とかマシになっていきました。夏休みの初任教員研修の一環で、考古博物館で研修中の若い先生方にも小物制作の「お手伝い」をして頂きました。



翳 さしば

衣装制作 奈良時代の国司（くにし）、国司の夫人、武官、僧侶、そして写真の子ども達の衣装。「服飾の達人」大杉さんは経験豊富な知識・技術を駆使され、その素材や縫製について、その時代そのままに再現することを目標に大変な御尽力をいただきました。私たち衣装部会のメンバーと幾度となく協議の時間を持ち、ひとつひとつ設計図を描いていきました。服飾の造詣が深い加藤さん、羽多野さんには衣装の柄やデザインなど、何かと御指導をいただきました。

そのなかで国司の衣装は、伊勢国司であり同時に万葉集の歌人でもある大伴家持（おおとものやかもち）をモデルに



天平衣装制作 三重県立飯野高等学校 応用デザイン科の皆さん

その官職である従四位下伊勢守（じゅしいのげ いせのかみ）に合わせた衣装の色など凝った作りとなっており、見ものです。縫製は大杉さんのほか、写真のとおり、三重県立飯野高等学校応用デザイン科の生徒の皆さんにも、勉学を措いてお手伝いいただき、見事な衣装が出来上がりました。



今回の衣装や小物作成にあたり、本当にたくさんの方々に関わっていただき、地域の皆さんの「暖かさ」を実感しました。

これらの衣装や小物は奈良天平文化のひとつの歴史資料として、鈴鹿市考古博物館で大切に保管されることになっています。また、博物館を訪れる皆さんが実物を見

ることができ、試着できたら、なお一層素晴らしいと思います。天平衣装部会のメンバーの皆さんに改めて感謝するとともに、何かと御支援いただいた考古博物館の豊田館長をはじめ、担当職員の皆さんに敬意を表し、報告とさせていただきます。

河曲の方言 あんなんこんなん



先日、テレビ番組でマツコデラックスさんが、各地の方言を素材に地域文化の深みを面白く紹介していました。最近では耳にすることも少なくなりましたが、河曲小学校所蔵「郷土資料」をもとにして、昭和前期頃までは河曲に常態として存した方言訛語の事例を紹介してみましよう。

インナシ

おなじ、の意。おんなじの派生。ウンナジとも。「あの二人、いつもインナシあたま飾り着けとるなあ。」などと。

チミギル

抓める、の意。「また妹に手、チミギラレテシモタ。」などと。遊びでも爪で手の甲をチミギラレルと、それは痛い。

イナミ

南、のなまり。須賀には水田地帯の字名として北浦や西浦などあるが、南に浦が続くとミナミウラでもイナミウラでもなく、訛って「イナンプラ」となる。なぜか東浦という字名は須賀には無い。

チョケル

チョウケルとも。ふざけるの意。「いつもチョケットタ」ので担任の先生に目をつけられ、叱られてばっか。

ヘチガム

ゆがむの意。イガムとも。叱られると口元がなぜかヘチガム。とはいえ性根までヘチガムこともイガムこともなく、そこそこで止まっておれば不幸中の幸い。

アコロム

農家の方が口にする至高のことば。秋十月、稲穂が順調にこうべを下げ始めると豊作間違いなし、とお天道さんと山ノ神さんに感謝。「今年もええあんばいにアコロンデきて、嵐も来んだし、おかげさんで、ほんまにありがたあすなあ。」などと。

クチナワ

蛇のこと。出会うのを避けたい生き物だが、最近はその姿を見ることも稀となり、クチナワということば自体が「絶滅種」となりつつありとか。

チョビット・チョボット

すこしの意。「もうチョビットお菓子、おくん。」とか「チョボットは相手のこと考えたらんとあかんやろ。」などと。

タケル

叱るの意。ふつうなら「タケル」で止めておくが、状況次第では「タツケリタオシテ、イワシタッタ。」などと。

ニキ

そば近くの意。「お前、もっとあの娘のニキに行っとつたらよかったのに。。しっかりせんと、あいつにもってかれてしまうがな。」などと。

ケシル

かじるの意。「お〜い、ここに饅頭、しもといたはずなんやがさあ。」「あれえ、またあの小ねずみ、ケシッテイッタントチガイマスヤロカ。」などと。

鈴鹿市役所人事異動 令和3年4月1日 付

令和3年4月の定期人事異動で山田昭弘地区市民センター所長と谷畑哲男公民館主事が転出され、新たに安村美保子所長と西脇光紀主事が着任されました。ここに山田所長と谷畑主事のお別れのことばをお伝えします。新任のお二人には次号でご挨拶をいただく予定です。

〇離任にあたって

この度の人事異動により河曲地区市民センター・公民館から市民対話課に異動することとなりました。河曲では6年間という長きにわたり大変お世話になりました。



6年を振り返ってみますと様々なことがありましたが、自治会長さんをはじめ各種団体の方々にお世話になり、「地域づくり協議会設立準備委員会」を立ち上げることができたことが、とても印象に残っています。

その後、「協議会」へと発展的に移行し、防災訓練など地域における様々な事業を展開することができ、大変充実した日々を過ごさせていただきました。

新しい職場におきましても、河曲で学ばせていただいた経験を存分に発揮し、業務に邁進してまいりたいと思います。

末尾になりますが、河曲地区の益々の発展と皆さまのご健勝をお祈りして、退任のご挨拶とさせていただきます。

河曲地区市民センター所長兼公民館長 山田昭弘

〇3年間、ありがとうございました

この度の人事異動にて河曲公民館から愛宕公民館へ異動することになりました。河曲は前任地と比べて規模が大きく、着任当初は戸惑うことばかりでした。しかしながらその規模の大きさからあらゆるものが盛大に賑やか



に行われており、戸惑いながらも公民館運営委員会の皆様はじめ公民館を利用される皆様や地域の方々に支えられて業務に邁進することが出来、あつ

という間に3年間という月日が流れてしまいました。本当にありがとうございました。

今後も河曲公民館がより活発な館になるよう、また河曲地区がより発展されますことを祈念し、異動のご挨拶とさせていただきます。異動はしても市内にはおりますので、どこかで見かけたらお声かけください！

河曲公民館兼地区市民センター 主事 谷畑哲男

河曲地区地域づくり協議会 令和2年度 年間活動概況

- 02.04.ー わいわい春まつり、コロナ禍で開催中止
- 02.05.ー 地域づくり協議会年次総会 コロナ感染防止のため郵送書面にて原案承認
- 02.05.30 地区環境整備事業 第1回草刈り 博物館、河曲小学校及び神戸中学校周辺
- 02.06.24 鈴鹿市長より署名嘆願書への回答受け取り
- 02.07.18 地区環境整備事業 第2回草刈り
- 02.08.01 河曲小学校夏休みラジオ体操を開催
- 02.08.08 同上 夏休みラジオ体操を開催
- 02.09.14 交通安全対策整備検討会議開催、近鉄踏切の整備促進等を確認
- 02.09.26 地区環境整備事業 第3回草刈り
- 02.10.02 鈴鹿市基本計画実行計画書に河曲提出の体育館建替等要望事項が「位置づけ」られる
- 02.10.ー 河曲地区体育大会 コロナ禍で開催中止
- 02.10.26 国分町「富士山古墳」整備清掃作業に参加
- 02.10.ー 鈴鹿市歴史公園竣工記念祭 コロナで中止
- 02.11.ー 公民館文化祭 コロナ禍のため開催中止
- 02.11.08 河曲地区サテライト型防災訓練を実施
16地区住民10254名のうち1469名参加
- 02.11.15 岡田登教授講演「伊勢大鹿氏と富士山古墳」
- 03.02.26 伊勢国分寺まつり企画委員会開催
- 03.02.27 地区環境整備事業 第4回草刈り
- 03.03.11 河曲小学校防災訓練に物資補給支援で協力
- 03.03.30 会計監査。令和2年度交付予算額190万円について瑕疵なしとの評価

河曲地区地域づくり協議会広報紙

『広報かわの』 第4号 令和3年3月31日 発行
発行責任者 河曲地区地域づくり協議会 事務局長
事務局 河曲公民館内「地域部屋」 電059-390-1295